

なみせいだより

第29号

発行所 近畿税理士会浪速支部青年部
〒556-0016 大阪市浪速区元町1-11-16 ヴォンジョルノ難波808
☎ 06(6647)6481

発行人 藤 本 伸太郎
編集人 夫 馬 竜 司



祝・入船



浪速支部青年部 —挑〜チャレンジ〜—	藤本伸太郎 (2)
ご寄稿「税務行政のデジタル・トランスフォーメーションについて」	
	浪速税務署長 雲田泰弘 (3)
新役員紹介	谷祐司・夫馬竜司・伊藤昌紘・金本昌史 西本毅・猿木真紀子・鈴木義教 (4)~(6)
定期総会	榮村聡二 (6)
ご最属に！—私のお勧め—	谷祐司 (7)
伝言板	(7)
歴代青年部長に聞きました 第2弾	(8)~(10)
入船！ 皆さん、よろしく	生谷拓也・清水和也 (11)
令和2年度青年部活動だより	(12)
編集後記	(12)

浪速支部青年部

「挑」～チャレンジ～



青年部長

藤 本 伸太郎

令和3年9月16日に開催されました第26回定期総会におきまして、浪速支部青年部長を仰せつかりました藤本伸太郎です。どうぞよろしくお願い致します。前任の西本先生よりバトンを受け継いだ私はまだまだ浅学非才でございますが、優秀な各委員長のお力添えをいただきながらこれからの2年間で青年部の更なる発展のため、絶えず努力を重ねていき、また次世代へとバトンを渡したいと思っております。現在、私は浪速支部においては原支部長の下、厚生事業担当の副支部長も拝命しており青年部長との二刀流となりますが全集中で挑戦していきたいと思っております。

平成14年7月に税理士登録をしてから早いもので20年足らずとなります。私が青年部に入会させていただいた頃は竹田先生が青年部長をされていた時代で、初めて参加した青年部活動として税務大学校大阪研修所を見学し、先輩先生方に非常に温かく接してもらったことを思い出します。当時の青年部は70名近くの会員数でかなり活気があったように思います。竹田先生から引き継いで青年部長をされた中谷先生の時代には八支部対抗ソフトボール大会に参加したことを鮮明に覚えています。他支部に比べてかなり弱小チームであった我々が「なにわホークス」はコールド負けや大敗といった残念な試合結果を繰り返し、続く内海青年部長時代には大阪ドーム（現京セラドーム）球場で開催され、プロ野球選手がプレーするグラウンドで試合ができたことは記憶に残る思い出となっています。その後は3期6年を務められた原青年部長時代には広報委員長・総務委員長を歴任し、青年部活動の企画・運営に深く関わり様々な貴重な経験をさせていただきました。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、緊急事態宣言発令が繰り返されて不要不急の外出の自粛、飲食店の営業自粛要請による経済の停滞など、我が国は未曾有の困難に直面いたしました。オフィスではなく自宅で働くテレワークやリモートワークなど新しい働き方の模索など、労働環境も大きく変化を迫られることとなりました。浪速支部青年部におきましても新型コロナウイルスの影響により活動が制限され、ファミリー参加レクリエーションなどの行事も全く開催できず、今般の定期総会においても密を避け規模を大幅に縮小して、浪速支部事務局にて最少人数で行いました。

新型コロナウイルスが蔓延したことで、不安、景気悪化、政治的混乱といった暗いニュースが毎日続き、いろんなところに諦めムードが漂っています。長引くウイルスの危機の渦中であっても、必ず希望の光はあります。青年部としましてはコロナ禍ゆえにできないと思うのではなく「できるようにしようよ」と発想を変え、スローガンに「挑」を掲げて「挑戦者」の精神で気持ちを新たに取り組んでいこうと思っております。

「挑」は「扌（手の象形）」と「兆（占いの時に亀の甲羅に表れる割れ目の象形）→割れ目をつける」から成る漢字であり、2つの意味を合わせると、「手を使って、亀の甲羅のような硬いものにひびをいれようとする。」ここから、「挑」の漢字には、「困難に立ち向かう、難しい事をやり遂げようと立ち向かうこと」という現在の意味になったようです。われわれ青年部はチャレンジャーですから失敗することを恐れずに浪速支部青年部らしく和気藹々とした企画を可能な限り実現してきたいと思っております。

最後になりましたが、浪速支部青年部にご支援を賜っております浪速支部の先輩先生方並びに会員先生方には心から深謝申し上げますと共に、これからもご指導ご鞭撻のほどを宜しく申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



税務行政のデジタルトランスフォーメーションについて — 税務行政の将来像2.0 —

浪速税務署長 雲 田 泰 弘

デジタルの活用によりサービスや仕事の在り方を変革する、デジタル・トランスフォーメーション（以下「DX」という。）を推進する動きが社会全体で広まっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、超加速度的に進められているとも言えます。そんな中で、行政のDXも、閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、その必要性が示されており、デジタル庁の主導の下、その取組が進められ、国税の申告や納付もデジタルを活用すれば、より簡単に、より便利にできるようになり、税務署や国税局の業務も、より効率的に、より高度に行うことが可能となります。誠実に納税を行っている多くの方々が不公平を感じることもないよう、デジタルの利点を最大限に生かし、税務行政を進めていくことが重要であるとの観点から、「デジタルを活用した、国税に関する手続や業務の見直し」すなわち「税務行政のDX」が進められていくことになります。

具体的には、「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収の効率化・高度化」を2本の柱としつつ、「あらゆる手続が税務署に行かずにできる社会」に向けた構想と、課税・徴収におけるデータ分析の活用等の取組を進めていくことになります。

税務行政のDXの基本的な指針は、①利用者目線の徹底、②万全なセキュリティの確保、③業務改革（以下「BPR」という。）の徹底とされており、それぞれを説明すると、利用者目線の徹底とは、デジタルに不慣れな方も含め、多様な利用者の意見に耳を傾けつつ、「すぐ使えて」、「簡単」で、「便利」な行政サービスを提供し、「あらゆる手続が税務署に行かずにできる社会」を目指す。また、万全なセキュリティの確保とは、当たり前のことではありますが、データの連携や分析に当たっては、納税情報を含む守秘性の高いデータを

扱うことからセキュリティの確保に万全を期す。さらにBPRの徹底とは、既存の制度や業務を前提にデジタル化を図るのではなく、デジタル化の利点を生かしたBPRに取り組み、全ての業務の在り方や職員の働き方を不断に見直し、データの活用により課税・徴収を効率化・高度化し、組織としてのパフォーマンスの最大化を目指すというものです。

特に「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の将来構想は、①申告や申請、届出が数回のクリックやタップで完了する仕組み、②特例適用状況の確認や、納税証明書の入手については、それらに代えて、納税者自身の情報をオンラインでリアルタイムに確認でき、データのダウンロードができる仕組み、③一般的な税務相談はチャットボットの内容を充実させ、また、個々の納税者の状況に応じたプッシュ型の情報配信などの環境の創設を考えていくことになります。

このようなイメージで進められていく税務行政のDXにつきまして、お気付きの点がございましたら税務署までご意見をお願いいたします。



新役員紹介



総務委員長

谷 祐 司

この度の定期総会において総務委員長を仰せつかりました谷です。西本前青年部長のもとでは微力ながら広報委員長を務めさせていただきました。今期より藤本青年部長から前任の西川先生にかわり、総務委員長を任命いただき大変光栄に存じます。藤本青年部長より頂きました委嘱状の言葉「浪速支部青年部のスムーズな運営のため精一杯頑張ってください。」を胸に、藤本青年部長を精一杯サポートし、流れるような青年部運営を心がけていく所存でございます。

そして、早速ではございますが、皆様にお願ひがあります。今後の「スムーズ」な青年部運営には、どうしても先生方の寄付が必要です。

あっ、そうそう！コロナ禍がおさまリ、青年部行事が開催される事となりましたら、是非ご参加いただいくことも「スムーズ」な青年部運営の一助となりますので、御厚情、御協力の程よろしくお願ひ致します。

なにやら、他力本願な総務委員長の誕生のようですが、藤本青年部長率いる浪速支部青年部総務委員長として、全力で職務をまっとうする所存でございますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



広報委員長

夫 馬 竜 司

この度、定期総会におきまして広報委員長を拝命致しました夫馬です。2年前に厚生委員長を拝命しましたが、次の2年間は谷先生より広報委員長を引き継ぎます。

振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が令和2年2月頃から蔓延しはじめたため、ファミリー参加レクリエーションも開催できず、厚生委員長という立場で特に青年部には貢献できておりませんでした。次の2年では、機関紙「なみせいだより」に掲載できる写真が沢山撮れば良いなと、一日も早くコロナ終息を願うばかりです。

明るく楽しく活動している青年部を「なみせいだより」を通じてお届けしていきます。どうぞよろしくお願ひ致します。



研修委員長

伊 藤 昌 紘

この度、定期総会におきまして3期目の研修委員長を拝命しました伊藤でございます。支部研修と同様に、青年部研修も新型コロナウイルスの感染防止のため、実施する事が出来ない状況が続いています。

来年こそ藤本新青年部長のもと、ファミリー参加レクリエーションの実施！あっ、これは研修委員会の役割では無かったです（汗）

改めまして、来年こそ藤本新青年部長のもと、研修委員長として青年部研修を実施する事を目指し、精一杯頑張る事を皆様にお約束します！

まずはZOOM研修を青年部で実験的に実施出来ればと考えていますので、楽しみにお待ち下さい。



厚生委員長

金 本 昌 史

厚生委員長を拝命しました金本です。

新型コロナウイルス感染症によりどこの団体も

活動自粛を余儀なくされていると思います。青年部も例外ではなくファミリー参加レクリエーション、意見交換会など出来ない状態です。

任期中に再開できるかなんとも言えない状況ではありますが、青年部を盛り上げていけるよう企画を考えたいと思います。

2年間よろしくお願いいたします。



直前部長

西 本 毅

緊急事態宣言中の9月16日に、浪速支部事務局で開催されました、第26回定期総会の役員改選におきまして、任期を終え退任いたしました。2年間の在任中、支部の会員先生方並びに先輩先生方、関係各位から多くのご支援とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。改めて厚く御礼申し上げます。

振り返りますと私の在任中の青年部活動は、令和元年のファミリー参加レクリエーションと同年の冬季意見交換会の行事しかできませんでした。その後コロナ禍となり、青年部活動も自粛を余儀なくされました。また、「なみせいだより」の発行に部長として携わり、青年部の歴史を感じ、青年部を続けることの重要性を改めて感じました。

今回、浪速支部税理士会そして青年部にも精通している藤本青年部長に部長職を快く引き受けていただき、大役を終え、ホッとしております。今後は、藤本青年部長はじめ新役員メンバーの先生方に協力し、微力ながらも青年部を盛り上げるお手伝いをさせていただきたいと思います。青年部の益々の発展をご祈念申し上げて略儀ながらご挨拶とさせていただきます。



コロナ禍いかがお過ごしですか?

前前部長(監事)

猿 木 真紀子

この度の定期総会において監事を仰せつかりま

した猿木です。長引くコロナ禍で殆どのイベントが延期・中止になりましたが、青年部ファミリー参加レクリエーションが2年続けてできなかったことは特に残念でした。今度行けるとしたら、少なくとも3年もの間隔が空くことになるので、子どもさん達はずいぶん変わっていて、会ったら驚くだろうと思います。

さて、巷の調査によると、この間に世の中のライフスタイルが変化したそうなので、自分はどうか、体験や変化について振り返ってみます。

■在宅ワーク

世間では、通勤がなくなり家族との時間や趣味の時間ができた、と良い面がある一方で、家族からは、ずっと居るのか、三食用意するのが大変、という声もあったようです。私の場合は仕事場と住居が同じなので、もともと在宅ワークで変化なし。ただ、出かけることが減って、一日の歩数が2ケタという日も。朝のゴミ出しが唯一の外出だった。

■コミュニケーション

「会う」のがオンラインなどに変化。離れた場所からいつでも会える。でも逆に、以前は「近いうちに会いましょう」だったのが、「会える時に会っておこう」と思うようになりました。オンライン飲み会もしましたが、アルコールがほとんど飲めないのでカルピスで参加。リアルなら空気で酔いが回るところですが、それはない。まあまあ楽しかったです。

■増えた時間で動画視聴

アマゾンプライムで「名探偵コナン」をほぼ全部観ました。ただし、途中で寝落ちするので事件が未解決。Youtubeで網戸の張り替え方を見て、100均で材料を買って張り替えました。魚のさばき方やお菓子作りの動画も観ました。チーズドッグ（アメリカンドッグの中のチーズが1メートルぐらい伸びました）やティラミス（ビスケットを使って簡単にできました）などを作りました。

■キャッシュレス決済とネットショッピング

現金を持ち歩く必要がなくなり、財布よりカード&スマホ（&エコバッグ）になりました。工夫するとポイントがたくさん貯まるそうですが、そこは余りでできていません。マイナンバーカードを作ったマイナポイントをもらいました。ネットでフ

アンヒーター（Joshin Web）とダイソンのスティック型掃除機（ショップジャパン）を買いました。ダンボールと緩衝材でいっぱいになりました。

■ワクチン接種

ファミレクのいつもの集合場所、OCATバス乗り場から観光バスに乗りました。イヤホンで音楽を聴き（るんるん♪）、車窓から馴染みのある風景を眺めながら高速に入り、スルスル走って行くと海が見えてきました。行先はインテックス集団接種会場。係員に誘導されてサクサク進み、無事に接種完了。またバスに乗って帰ってきました。

やっと緊急事態宣言が解除され、このまま落ち着いたら、来年はファミレクに行けるでしょうか。その時は3年分の話をして大勢で楽しく過ごしたいです。



前前前部長

鈴木 義 教

時の流れは早いもので、わたくしが青年部長を卒業して早、いつの間にか2期4年が過ぎ、この定期総会にて藤本伸太郎新青年部長が誕生しました。わたくしヨシ君が青年部長の頃は浪速支部で副支部長の末席である情報化対策委員長をも並行して務めていて正に二刀流をこなして大活躍していました。同じく藤本青年部長も、浪速支部では副支部長を並行しますので、わたくしヨシ君をよくよく見習って、全集中で二刀流をこなして下さい。わたくしヨシ君の特技は、人の話をしっかり聞くということです！是非、藤本青年部長は困ったことがあればお気軽に何でもご相談ください。

◀ 定期総会 ▶



第26回 青年部定期総会 に参加して

榮 村 聡 二

令和3年9月16日15時30分支部事務局にて司会者より第26回青年部定期総会開催が宣言されました。司会者は西本毅青年部長で、そのまま西本青年部長より、この2年コロナ禍でほとんど事業を実施できなかったが任期を全うできたことに対し支部会員の皆様へ感謝する旨の挨拶がありました。続けて議長選任について司会者一任の声がかかり、西本青年部長が議長に就きました。広報委員会より谷委員長、厚生委員会より夫馬委員長代理の西本青年部長、研修委員会より伊藤委員長、総務委員会より西川委員長代理の西本青年部

長から、各委員会の事業報告及び会計報告が行われました。鈴木監事より監査報告があり、質疑応答の後、審議が行われました。結果、出席者全員賛成の決議となりました。また、本年は役員改選の年であり、西本青年部長より退任の意向と新青年部長の推薦がありました。他の立候補者もなく、推薦された藤本伸太郎会員が、出席者全員の賛成を得て、新青年部長に就任されました。藤本青年部長が新任の挨拶をされ、新執行部の会員へ委嘱状を手交しました。委嘱状の文面は委員長ごとに異なり、ユーモアたっぷりに読み上げられました。結びに原支部長と榮村本会理事より祝辞が述べられ、コロナ禍であっても青年部らしい活気のある総会が閉会しました。

ご負担に！一私のお勧め



谷 祐 司

私、谷が西川先生の代打でご紹介いたします。お店は「八百屋とごはん うらや本店」です。当事務所が入居させていただいている、三宝ビル1Fにある行列ができる知る人ぞ知るお店であり、身体に優しい和定食を昼から夜まで提供されています。メニューも面白く「回復定食」はビタミンB1が豊富な豚肉を中心に、「予防定食」は大豆たっぷりて生活習慣病予防に、「元気定食」はチキンで免疫力アップに！と食べる前から元気になること請け合いです。私のおすすめは、「元気定食」です！甘辛いタレをからめる鶏の唐揚げと新鮮な玉子のTKG（玉子かけご飯）は絶品です。

昼は「八百屋」の顔もあり、栗のような食感・濃厚な「甘いインカのめざめ」など新鮮な野菜の販売があり、夜はお酒も提供する身体に優しい(?)居酒屋さんに変身しますので、ご興味ある方、是非一度ご来店を！ただ、少しカロリーが高いので

食後は運動必至となりますがそれも又健康的で良いということに。

次回は生谷拓也先生よりお願いいたします。

住所：大阪市浪速区桜川1-1-28 三宝ビル1F



《ご寄付のお礼》

前第28号の本誌上におきまして当青年部運営のご寄付をお願いいたしましたところ、現在まで33名の先輩先生方を含め42名の皆様方より総計465,000円のご厚志を頂戴いたしました。ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

伝言板

《会員異動（前号編集以降）》

入 船／中 平 浩 史	大国1丁目3番4号 レックビル302号	☎6585-9391
生 谷 拓 也	湊町2丁目2番10号 3304号室 伊藤昌紘税理士事務所	☎6635-3390
清 水 和 也	湊町1丁目3番1号 湊町リバープレイス6階 中辻義則税理士事務所	☎6567-9677
植 田 諭	難波中3丁目4番41号 体東ビル4階A号室	☎6606-9992
河 野 岳 友	敷津東2丁目1番24-2307号	☎050-3553-1600

歴代青年部長に聞きました 第2弾

未だ新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされている昨今、青年部としての行事も中止、または規模縮小での対応で、先生方へ「なみせいだより」を通じてのご報告できるものが限られています。そこで、第28号に掲載された特別企画「歴代青年部長に聞きました」の第2弾をお届けしたいと思います。

今回も3名の元青年部長の先輩先生方に当時のエピソードや思い出話をお伺い致しました。お忙しい中、お時間を割いて頂きました先生方に御礼申し上げます。

岩橋元青年部長



岩橋先生は、大阪メトロ千日前線桜川駅の近くで、千日前通の南側に事務所を構えていらっしゃいます。お伺いした事務所は、桜川のマンションの一室を綺麗に改装し使っておられます。インタビューをさせて頂いた応接室には、タイガースファンらしきグッズが散見され、熱狂的なファンであることが垣間見られました。

そんな一面をお持ちの岩橋先生ですが、平成11年9月の定期総会で藤原先生よりバトンタッチということで4代目青年部長をお引き受けされました。その当時、若手税理士が少なく自分より年下の先生が10数名程度、青年部全体としても30名程度の青年部だったということで、新しい先生の参加が少なく、青年部が続くかどうか心配だったそうです。そこで大きな改革を断行されました。それは、当時の青年部年齢制限が50歳だったため、55歳に引き上げるよう規約の改正に

動きました。今後の青年部運営について考えた最初の仕事でした。51～55歳の先輩先生方に再度青年部を盛り立てて頂くよう改革したのです。幹部構成をほとんど先輩先生方にお任せし岩橋青年部が発足しました。

定期総会、忘年会、研修、ファミリー参加レクリエーション、なみせいだより発行の大筋路線は変わらず、行事を増やさないように配慮したとのことでした。業務量が増加することで青年部先生方の負担を増やさないよう、楽しくそして闊達に組織運営を考えました。その時の思い出を水戸黄門を引き合いに出され、マンネリではなく分かりやすい青年部づくり、したしみやすい青年部、をテーマにされていたそうです。

ファミリー参加レクリエーションの思い出にもたくさん触れて下さいました。USJが開業した時にファミレクの候補地として挙がりました。岩橋青年部長以外の幹部9名はUSJ案に賛成、岩橋先生のみが反対ということでした。なぜ反対したのか？その理由を、次にお話されました。団体行動にならないから。あくまでも、ファミリー参加レクリエーションは参加者全員で楽しみたい、との熱い思いからの反対でした。とはいえ、民主主義である以上、USJ案を採択しない訳にはいきません。そこで、全員参加のできるひと時をどうしても作りたい、みんなで楽しみたい、という考えから、USJの園外にあるシティーウォークの一角にある焼肉屋でみんなで昼食を取るようにしたのです。参加者全員でお昼ご飯を、それだけでも団体行動をしたかったと当時の思い出を語って下さいました。

忘年会では、阪堺電車で「電車でGo!」と銘打って、阿倍野から浜寺公園の往復にて貸し切り忘年会をされたそうです。楽しい思い出だと当時を振り返っていらっしゃいました。

当時の思い出とは別に、今後の青年部についても心配されていました。それは人数の問題です。例外なく浪速支部も高齢化が進み、また、若手税理士の登録も極めて少ないことから、今後の青年部活動に支障が出てくるのではと憂慮されていました。そんな岩橋先生から「青年部Love!!」とお言葉を頂き、インタビューが終わりました。

20年前のことを懐かしみながら、そして思い出しながらお話をして下さいました。

宮脇帝二先生

ぼく（岩橋先生）が青年部長の時、「なみせいだより」で入船を書いてもらったことを懐かしく思い出します。ご冥福をお祈り致します。

竹田元青年部長



竹田先生は、旧府立体育館、現在のエディオンアリーナ大阪の向いにあるビルの2階に事務所を構えておられます。先生が設立されたTMA税理士法人ですが、この6月には代表から相談役に就任され、後進の育成にご尽力されています。

岩橋先生から引継ぎを受けた竹田先生、岩橋青年部長時代では総務担当をされていたとのことでした。就任されたのは平成13年9月。その当時の思い出が堰を切ったように思い出されました。米国における同時多発テロ事件、小泉内閣による規制改革、金融ビッグバン・・・世の中の大きな出来事が思い返されました。先生が青年部長に就任されたとき、引き受けたものの自身の身の回りのことも大変な時だったようで、本音は「受けなかった・・・」とお話されています。先生の事務所が設立10年目で、事務所経営で多忙極まる日々だったそうです。事務所は拡大志向の真っ只中で、職員を増やして同時に顧客拡大に向け邁進中、事務所管理の必要性から日報システムの導入も行い、先生の事務所運営にも手が回らないほどの忙しさだったそうです。また、ご家庭ではまだお子さんも小さかったということで、プライベートでも忙しかったとのことでした。しかしながら、「自身の経験を青年部に生かせるかなあ」と奮起され2年間部長職を全うされたそうです。

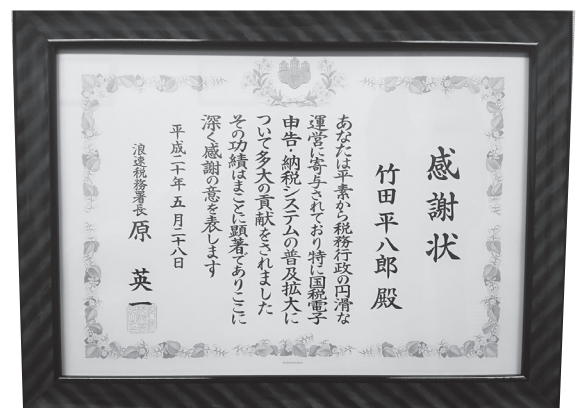
就任後、まずは研修を充実させたいという思いから、11月に日本政策金融公庫玉出支店との情報交換会を行ったという、初めての試みだったそうです。情報交換会を実施する前は、堅苦しいイメージを公庫にはお持ちだったそうですが、意見交換会を通じてその意識が消えるくらい穏やかな研修会であったようで、大成功だったと先生もご満悦でした。

その後、コンピューターウイルスの話題が大きく取り上げられていた時期であったことや電子申告が開始される予定であったこともあり、その対応を巡って大塚商会を招き事務所のセキュリティに関する研修を実施、税務大学校での研修・見学は、実務的な研修をしたかったという先生の熱い思いから実現したものだったそうです。

ファミリー参加レクリエーションでは、神戸フルーツフラワーパークとハーベストの丘の企画をされたようですが、研修制度の充実の方が思い出に大きく残っているようでした。

一方、今後の青年部を心配されていました。対象者がだんだん減っているが、運営していけるのか？青年部の必要性は今後もあるのか？年齢が高齢化していきおり若手税理士がほとんどいなくなっている。諸先輩方が懸念されている共通事項であることを改めてその場でも再認識しました。

最後に、青年部に一言頂きました。「青年部全員が参加したくなるようなことをぜひ企画して下さい。税務研修や金融研修はもとより、税務署との懇親の場も多くあっても良いし、さらには他支部の青年部との交流会があってもいいよなあ」。青年部の高齢化、会員の減少に負けず、さらなる活性化に向け青年部の他支部との交流というご意見を頂戴しインタビューが終わりました。



中谷元青年部長



中谷先生は、長年構えていらしゃった銭湯横の事務所から同じ日本橋にある現在の事務所に2年前に引っ越しをされました。南海難波駅沿線から東に一本筋を入ったところに構えていらしゃいます。応接入り口には世相を反映し、消毒液設置の非接触型検知器スタンドが備え付けられており感染症対策がしっかり取られていました。

まずは青年部の思い出として、規約のことをお話されました。青年部規約は、大野青年部長時代に作成をされたもので、その制定に携わったとのことでした。その作成メンバーが中谷先生で、他に平安座先生と一緒に作り上げたものだとお話がありました。大野部長時代からフラットな青年部として組織づくりをしたいとのことで、その精神を引き継ぎ、青年部運営をされてきたそうです。

一番の思い出話を伺うと、ソフトボール部の創設だったそうです。きっかけは、南支部久田先生からのお声掛けだったとか。支部対抗のソフトボール大会があったようで、1支部脱退したため浪速支部に声がかかったとのことでした。受けた当初は気軽に受けたそうですが、部長時代に一番苦労した、とお話されました。ソフトボールチームを結成するために、平成16年6月から7月にかけて打合せ、9月には早くも大会に参加するというハードスケジュールでした。その当時は8支部対抗戦でした。ソフトボール部員は13名。原先生、岩崎先生の2名が主な戦力というチーム構成。唯一チームとして作ったものが帽子とTシャツだけだったと。山口先生の奥様がソフトボール経験者ということで、チーム練習に招いて一緒に汗を流したそうです。

さて、そのソフトボールチームの戦績はというと・・・天王寺支部との戦いでは6-20で負け

たり、と大変厳しかったそうです。メンバーが13名であったこともあり、試合出場が9名で4名がリザーブ、また、試合をしていない時には審判をしたりと大会では目まぐるしく動いていたということでした。しかしながら、唯一の勝利が平成17年9月3日の大会で、最初で最後に勝った1勝を今も覚えておられました。結局は、内海青年部長時代に脱退をして青年部ソフトボールチームが解散しましたが、その立ち上げに大変尽力したというお話がありました。

また、冬季意見交換会でのお話として、当時の青年部長がクイズ形式にて自分が身に着けているものの金額を当ててもらおうという出し物があったそうです。その当時、お父様からの形見の腕時計を身に着けていたということで、ロレックスの腕時計の金額をクイズにしたとか。その金額は、55万円相当。大変オープンな青年部だったようでした。

ファミリー参加レクリエーションでは、当時は旅行社を使うことなく、自家用車にて現地集合、現地解散形式にて行っていたそうで、厚生委員長をはじめ、しっかり対応してくれたので、ソフトボール部結成よりは労なく開催できた、とやはりソフトボールのことが中谷先生の思い出として強烈に残っていたようでした。そのファミリー参加レクリエーションも、中谷部長時代を最後に平成17年よりバスツアーとなりました。

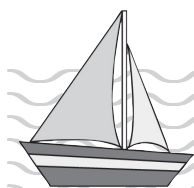
今後の青年部について、お聞きしました。岩橋青年部長時代に年齢規定が55歳になったために青年部の人数も多かったと。支部登録者数もピークの130人以上いらしゃり、活気もあったそうです。しかしながら、現在は若手税理士がそもそも少ない。青年部不要論を唱える先生もいるようだが、中谷先生からは、「ぜひ今後も続けていてもらいたい」、とお言葉がありました。中谷先生からのエールです。「青年部でそれぞれポジション、役割を作って、全青年部先生が何か委員に属して盛り立てて欲しい」と頂きインタビューが終了しました。



藤本青年部長

岩橋先生、竹田先生、中谷先生、急な訪問依頼にもかかわらず、お忙しいところ貴重なお時間を割いていただき誠にありがとうございました。20年程前にそれぞれ青年部長をされていた時代の記憶を振り返りながら、熱い気持ちのこもったお話を色々と聞かせていただき大変勉強になりました。当時の青年部員数は70名程が在籍していた頃で非常に活気があり様々な勉強会やイベント

を企画されていたように感じました。現在の青年部員数はかなり減ってきていて存在意義が薄れつつありますが、何とか魅力ある青年部の企画を発信して次の世代へバトンを繋げていきたいと思います。



入船! 皆さん、よろしく



生 谷 拓 也

令和3年6月に浪速支部に入会させて頂きました生谷拓也と申します。

住吉支部の税理士事務所から西支部の税理士法人を経て、昨年11月から浪速支部の伊藤税理士事務所で勤務しております。各事務所それぞれの色があり、学ぶことがたくさんありました。そのため、先輩の先生方とお会いしお話しする機会を楽しみにしておりました。しかし、9月末時点では、未だにコロナウイルスの影響で一度もその機会にめぐり合えておりません。現在ワクチンの接種割合も増え、通常の生活に戻りつつあり、皆様にお会いできる機会も近い将来実現すると思いき楽しみにしております。

資格取得に相当の時間を要したため、若い新人税理士ではありませんが業界の発展に少しでもお役に立てればと考えております。

まだまだ未熟者ですので、ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



清 水 和 也

皆様初めまして、令和3年8月に税理士登録をさせて頂きました、清水和也と申します。現在は中辻義則先生の事務所の所属税理士として、税務業務をスタートしたところです。

これまでは、中堅監査法人において、公認会計士として主に監査業務に従事しておりました。監査業務もある意味堪能しましたので、もう少しクライアントに近い立場で、クライアントに喜んでいただける仕事をしようと思い、舵を切りました。

あいにくコロナ禍のため、浪速支部及び青年部の活動は、過去の会報を拝見して想像するしかありませんが、会報からも諸先輩方の和気あいあいとした雰囲気伝わってきますので、今後皆様にお会いできる機会を楽しみにしております。

税務のことをはじめまだまだ不勉強にて、皆様にいろいろ教えていただくこともあろうかと思っております。ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和2年度 青年部活動だより

令和2年8月1日 ～令和3年7月31日

I 役員会開催関係

なし

II 活 動 関 係

- | | | |
|-------------------------------|---------|---------|
| • R2. 9.11 「第25回定期総会・意見交換会」開催 | 道頓堀ホテル | 出席者10名 |
| • R2.11. 5 「なみせいだより」第28号 編集会議 | 道頓堀ホテル | 出席者 8 名 |
| • R2.11.18 「なみせいだより」第28号 最終校正 | 浪速支部事務局 | 出席者 5 名 |
| • R2.12. 1 「なみせいだより」第28号 発送準備 | 西本事務所 | 出席者 4 名 |
| • R2.12. 1 「なみせいだより」第28号 発刊 | | |

* 編 集 後 記 *

青年部は藤本新青年部長の下、新たな体制で活動が始まりました。スローガンに「挑」をかけた、青年部一同、失敗することを恐れずに希望の光を探しながら前進します。

今回の「なみせいだより」には前回に引き続き、“歴代青年部長に聞きました 第二弾”を掲載させて頂きました。どの時代も難題や困難がありながら、常に希望の光を探し、前進していく姿勢は、浪速支部青年部の伝統かもしれません。

令和3年もコロナ禍は続き、青年部の行事である“ファミリー参加レクリエーション”“青

年部定期総会”は縮小・中止を余儀なくされてしまいましたが、来年こそは希望の光を見つけコロナに打ち勝ちましょう。

(谷 祐司)

